

映画の“ルック”を浴びてみる!

全作品フィルム上映

～マイケル・パウエル、エメリック・プレスバーク&ジャック・カーディフ～

手軽で高度なビデオカメラの登場で、音が、画が、それなりに撮れる昨今。

もうひとふんばり、映画のルックに力を注いでみませんか?

イギリスを代表する製作・監督・脚本パートナー、パウエル&プレスバーク、そして撮影のカーディフ。

彼らの作品があなたを激しく刺激します!

9月18日[火]15:30～/26日[水]18:00～

『老兵は死なず』 1943年/35mm/163分/カラー

THE LIFE AND DEATH OF COLONEL BLIMP (日本語字幕投影)

製作・監督・脚本:マイケル・パウエル、エメリック・プレスバーク

第二班撮影:ジャック・カーディフ

出演:デボラ・カー、ロジャー・リヴセイ、アントン・ウォルブルック、

ローランド・カルヴァー、デヴィッド・ウォード



ポーア戦争、第一次&第二次世界大戦と、3つの戦争を生き抜くキャンディ少将を通して、変わるもの、変わらないものを見事に描く。国境を越えた友情、女性への愛と敬意、そして、デボラ・カーの3役も注目! 記念すべきパウエル&プレスバークの製作会社「アーチャーズ」第一作。イギリスでは現在もベスト映画に選ばれる傑作!

9月18日[火]12:30～/21日[金]13:30～(小ホール)

『赤い靴』 1948年/35mm/136分/カラー

THE RED SHOES (日本語字幕つき)

製作・監督・脚本:マイケル・パウエル、エメリック・プレスバーク

撮影:ジャック・カーディフ

出演:モイラ・シアラー、アントン・ウォルブルック、マリウス・ゴーリング、

ロバート・ヘルプマン、アルバート・パッサーマン



マーティン・スコセッシの映画保存活動第一作にも選ばれた名作だが、公開時英国では「バレエを撮るなんて…」と冷遇された。童話『赤い靴』をベースに、芸術の為に人は生きられるか?を問う。新作の主役に抜擢された新人バレリーナが、作曲家との恋を取るか踊りを取るかのぼさまで…。テクニカラーとバレエ撮影の頂点!

9月18日[火]19:00～/26日[水]15:30～

『天国への階段』 1946年/35mm/104分/白黒+カラー

A MATTER OF LIFE AND DEATH (日本語字幕投影)

製作・監督・脚本:マイケル・パウエル、エメリック・プレスバーク

撮影:ジャック・カーディフ

出演:デヴィッド・ニューヴァン、キム・ハンター、レイモンド・マッセイ、

ロジャー・リヴセイ、ロバート・クート



第二次世界大戦。墜落する戦闘機から遺言を無線で語る英国兵ピーター。受ける連合国兵ジューン。天国では、ピーターを探しに天使が地上に派遣される。ピーターは死んだのか?生きているのか?国家間の確執が噴き出す生死裁判を、壮大なセット、カラーと白黒のコントラストの妙、合成など、映画の粋を凝縮して魅せる必見作!!

9月21日[金]16:30～(小ホール)/26日[水]13:00～

『黒水仙』 1947年/35mm/100分/カラー

BLACK NARCISSUS (日本語字幕つき)

製作・監督・脚本:マイケル・パウエル、エメリック・プレスバーク

撮影:ジャック・カーディフ

出演:デボラ・カー、サバー、フローラ・ロブソン、

ジーン・シモンズ、ジュディス・ファース



ヒマラヤの麓、険しい崖に張り付く、かつての王の愛人たちの宮殿を学校と病院として成功させる命を受けた4人の尼僧。秘境の村は彼女たちを変えていく…。オールセットとマットペインティングでつくりこまれた隔絶された世界が驚愕と感動を呼ぶ驚異の映画。複数部門のアカデミー賞を受賞。百聞は一見に如かず。見るべし!!



左写真-左:マイケル・パウエル (1905-1990)

映画監督/イギリス生まれ

左写真-右:エメリック・プレスバーク (1902-1988)

脚本家・小説家/ハンガリー生まれ

31年から5年間に23本の低予算映画をこなし腕を磨いたマイケル・パウエルは、「スバイ」(41年)で、脚本家として紹介されたエメリック・プレスバークと出会い意気投合。42年、共同で製作・監督・脚本を行うため「アーチャーズプロダクション」を設立。11作品を発表し高い評価を受け、デヴィッド・リン、アルフレッド・ヒッチコックと並ぶイギリスの誇る映画監督となる。しかし、60年にパウエルが単独で監督した「血を吸うカメラ」の性的で暴力的な描写が大変な非難を受け映画界を追放状態に。後に、マーティン・スコセッシを始めとする熱狂的パウエルファン監督たちによる再評価で、「血を吸うカメラ」は今や傑作のひとつとして知られている。

右写真:ジャック・カーディフ (1914-2009)

撮影監督・映画監督/イギリス生まれ

マイケル・パウエル作品「老兵は死なず」で第二班撮影に参加し注目され、続く「天国への階段」「黒水仙」「赤い靴」で撮影監督として不動の地位を築く。他に、「山羊座のもとに」「アフリカの女王」「王子と踊子」「ランボー/怒りの脱出」など多彩な監督の撮影監督を務め、アカデミー賞はじめ数々の受賞がある。映画監督としても「息子と恋人」で高い評価を受け、「あの胸にもう一度」は日本で人気を博した。絵画への造詣が深く、自らも絵筆をとった。

特別上映作品

9月21日[金]19:15～(小ホール)

22日[土]12:15～(小ホール)

『ヒズ・ロードシップ』

1932年/35mm/72分/白黒

HIS LORDSHIP (日本語字幕つき)

監督:マイケル・パウエル

出演:ジェリー・ヴァーノ、ジャネット・メグリユ、

ボリー・ワード、ベン・ヴェルデン、マイケル・ホーガン



若きマイケル・パウエルが挑戦した量産低予算映画から、現存する貴重な1作を上映。「自主映画?」とさえ感じる、さまざまな映画の楽しさをリズムカルにつなぎ合わせたミュージカルコメディ。ロンドンの配管工パートは、父の残した称号故に、「貴族」との話題がほしいアメリカの新進女優に結婚を持ちかけられるが…。DVD未発売。

映画を志すひとたちに、ヒントやエールとなる映画を上映したい。それが招待作品部門です。

Invited Works

招待作品部門

日本映画最新作

公開予定作品をいち早く紹介します。

本年は日本映画を支える俳優たちが集結した『Playback』と、子供の夢がそのまま映画になった、瑞々しい『リルウの冒険』です。

9月19日[水]18:30～

三宅監督来場予定!

『Playback』

2012年/35mm/113分/白黒

監督・脚本・編集:三宅唱

出演:村上 淳、渋川清彦、三浦誠己、渡辺真起子、菅田 俊



ふと気付くと、すっかり中年のまま、制服を着て高校時代を再体験している俳優ハジ。人生の分岐点に立ち、奇妙にも過去と現在を往復することになった彼は、そこで何を発見するのか? 独特の時間感覚と美しい白黒映像がみる者の心を奪い、第65回ロカルノ国際映画祭インターナショナル・コンペティションに招待された。

9月21日[金]18:30～

熊坂監督来場予定!

『リルウの冒険』

2012年/117分/カラー

監督・脚本・撮影:熊坂 出

出演:ジャバテ璃瑠、仲村渠さえら、

ユール・ジャバテ、泉川珠羅、りりい(特別出演)



たった一人の友達、ころろが消えた。「リルウ、ゆめをわすれないで。」ゆめ? だれがみたゆめ? 「ふたつそろわないとほんとうの意味がわからない物語がある」と、ころろは言った。何者かによって異世界に招き入れられたリルウ。そして、リルウの冒険が、今、はじまる。『パーク アンド ラブホテル』の熊坂出監督。待望の新作完成!